

常磐線富岡・浪江駅間における除染試験施工の実施について

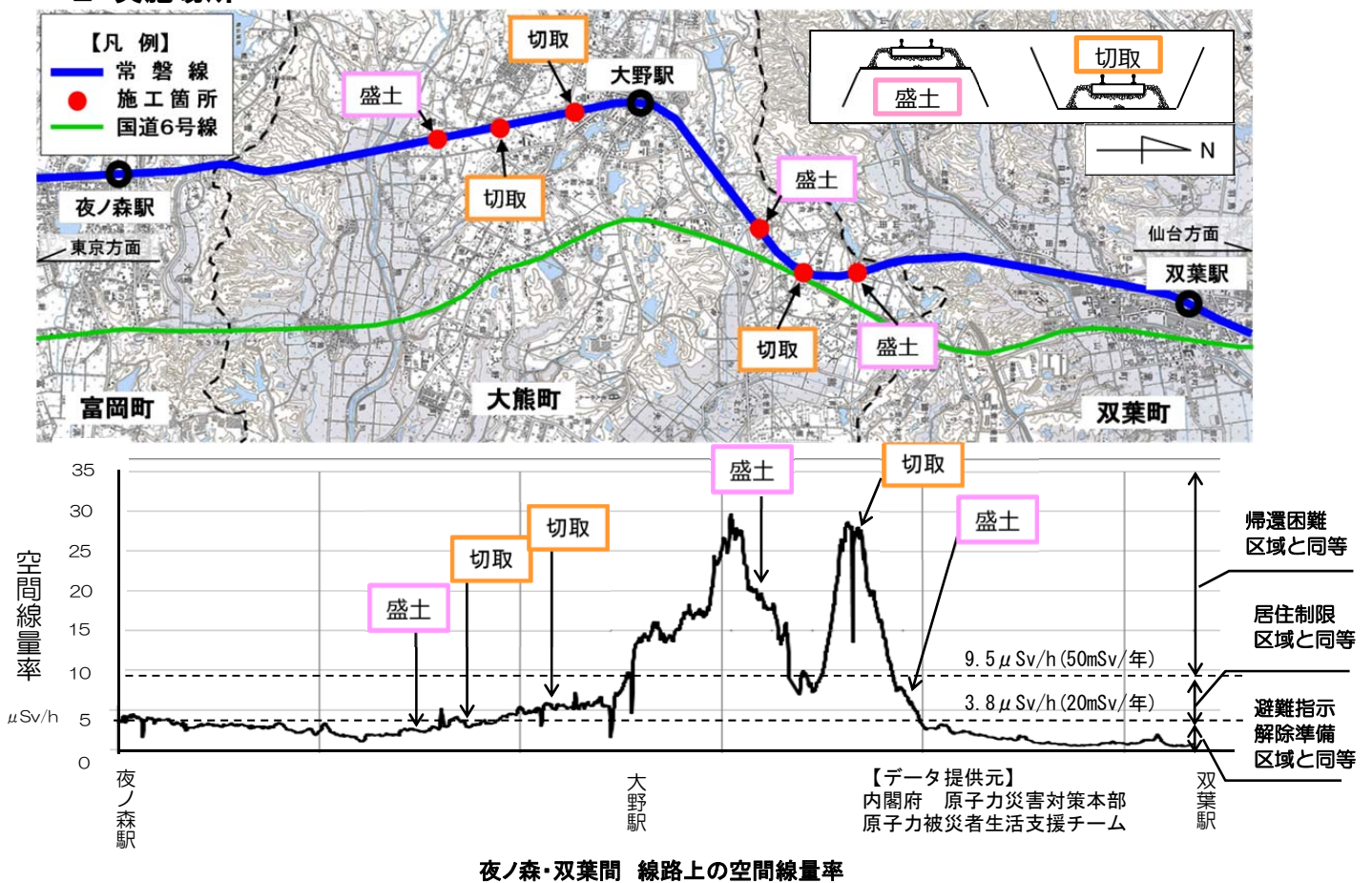
常磐線の富岡・浪江駅間の復旧工事に際しては、空間線量率は最大で $30\mu\text{Sv/h}$ の地点を含むなど放射線量が高い箇所があり、その低減が重要な課題となっています。このため、被災施設の復旧と併せて、国や地元自治体のご支援、ご協力をいただきながら、列車運行に必要な除染や異常時のお客さま安全確保対策を完了した後、開通させることを目指しています。

この度、当該区間の除染計画を策定するために、夜ノ森・双葉駅間（大熊町内）の鉄道用地内において、8月20日より除染試験施工を実施しますのでお知らせいたします。

1 除染試験施工の概要

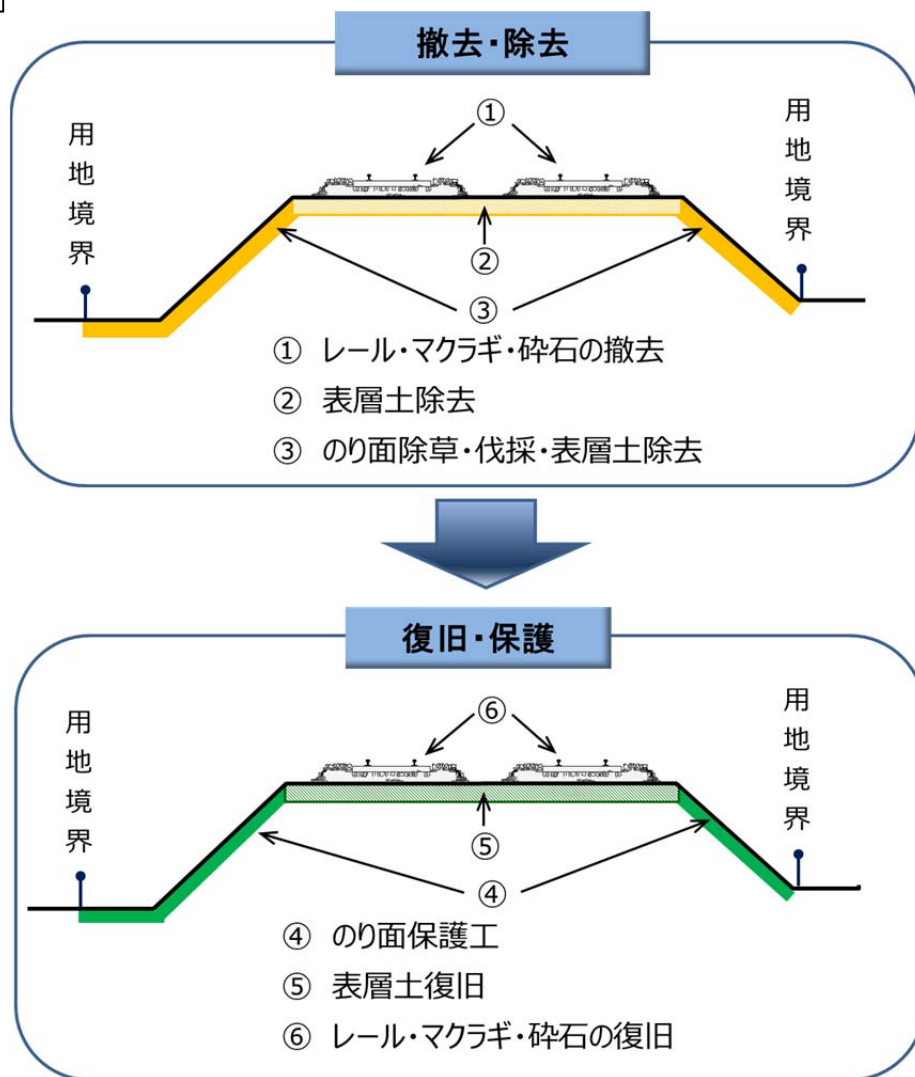
空間線量率や線路構造（盛土、切取）が異なる6箇所を選定し、除染試験施工（撤去・除去、復旧・保護ならびに効果確認）を行う（別紙参照）。

2 実施場所



3 実施予定期間

2015年8月から2016年3月



盛土区間における標準的な除染試験施工例



おっとざわ
大熊町夫沢付近 2015年8月7日撮影